

特集

# 伊達政宗公

## 生誕450年

### 仙台の礎、 将来に 繋がる偉業

今年伊達政宗公生誕450年の節目にあたります。仙台藩祖である政宗公の生涯は、これまでも、さまざまなメディアで取り上げられ、老若男女を問わず、全国的な人気を誇っています。いまお人々を魅了する、「伊達政宗」という人物の魅力は、どこにあるのでしょうか。今号では、知っているようで知らない伊達政宗公の魅力について、仙台市博物館の遠藤館長からお話をうかがいました。

写真提供：  
公益財団法人仙台観光国際協会



仙台市博物館 館長  
えんとう としゆき  
遠藤 俊行氏

### 伊達政宗は「伝統」と「革新」、両方をあわせもつリーダーです。

#### 魅力は高い美意識と 大胆不敵な行動力

仙台市博物館の収蔵資料の多くは仙台藩に関わるものです。したがって、展示や研究、普及活動の中で、伊達政宗関連は大きなウエイトを占めています。政宗に関する文化財を見ることを目的としたお客さまもたくさんいらっしゃいます。

そうした、「政宗のファンです」とおっしゃる方に、折にふれて「どんなところが魅力だと思うのですか」と聞くと、黒漆五枚胴具足という甲冑や、月をかたどった前立てが良いとか、朝鮮出兵時の絢爛豪華な戦装束が素敵とか、中には、鶴（セキレイ）の花押（かお）が可愛らしいとおっしゃる方もいます。また、豊臣秀

吉との初対面となる小田原参陣のとき、怒りを買うことが必至という状況に白装束で現れたという逸話から、粋にとらわれない大胆不敵な行動力が魅力だとおっしゃる方もいらっしゃいました。

私の感想ですが、このようにひとりで表現できない、多面的な魅力をもち合わせていたことこそ、政宗が人を引きつける理由ではないかと考えます。

#### まちづくり

#### 先を見すえた

#### 持続可能なまちづくり

文化の面でも和歌や能楽に親しみ、書にも才能を発揮した政宗は、神社仏閣の再興や建設を丁寧に行っており、伝統的

なものも大切にしました。一方で、迷信や因習には比較的自由な人だったように思います。

仙台というまちの経営者でもあった政宗は、まちづくりや人材登用に関しては、かなり合理的な考え方をしていました。

例えば、まちづくりに関して言うと、この地で大規模な戦闘を行うことへの配慮は希薄で、都市としての使い勝手の

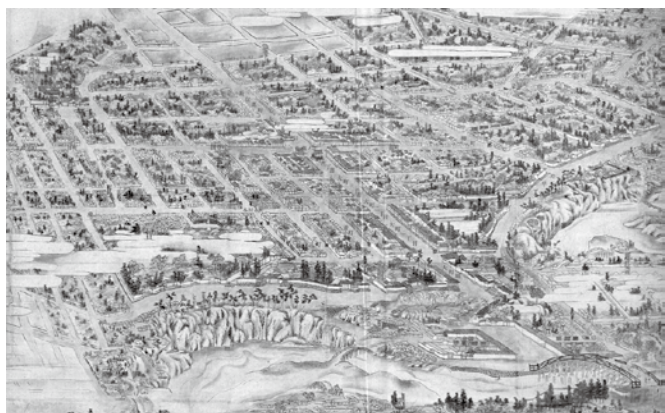
良さ、経済性などの方を重視していたようです。この当時の城郭は、武家屋敷などを堀や土塁などで囲み、城下町全体に

城の機能をもたせる「惣構（そうがまえ）」という構造が多く用いられました。しかし、仙台のまちは「惣構」ではなく、城を守るという防御性よりも、都市活動をどううまく展開していくかというところを見据えてつくられたのです。

永禄10年8月3日(1567)	1歳	伊達輝宗の嫡子として出羽国米沢で誕生
天正5年(1577)	11歳	元服して政宗と名乗る
天正12年(1584)	18歳	家督を相続
天正13年(1585)	19歳	父輝宗が畠山氏との抗争で死去・人取橋の合戦
天正17年(1589)	23歳	摺上原合戦で蘆名氏を破り、会津を領地とし、黒川城に居城を移す
天正18年(1590)	24歳	小田原攻めをしている豊臣秀吉の許に赴き臣従する(小田原参陣)
天正19年(1591)	25歳	米沢などを没収され、岩出山に居城を移す
文禄2年(1593)	27歳	豊臣秀吉の命で朝鮮半島に渡り、約半年間半島南部を転戦
慶長5年(1600)	34歳	徳川家康に味方して上杉氏と戦う
慶長6年(1601)	35歳	仙台に居城を移す(仙台開府)
慶長12年(1607)	41歳	大崎八幡宮、国分寺薬師堂竣工
慶長14年(1609)	43歳	松島瑞巖寺竣工
慶長18年(1613)	47歳	支倉常長等をメキシコ、ヨーロッパに派遣(慶長遣欧使節)
元和元年(1615)	49歳	大坂夏の陣に参戦。
寛永3年(1626)	60歳	道明寺口の戦いで真田信繁等と交戦
寛永5年(1628)	62歳	北上川の治水工事が完了する
寛永6年(1629)	63歳	若林城が完成。在国時の居城とする
寛永13年5月24日(1636)	70歳	四ツ谷用水が完成する 江戸上屋敷で死去

※年齢は数え年で表記





文久2年(1862年) 仙台北城下絵図(仙台市博物館蔵)

「食」があり、その「食」を通して家臣とも交流する時間を設けたことは、とても素晴らしいコミュニケーションの仕方ではないかと思えます。

## 文化

文化的なもの  
愛し、楽しむ、

### 人間関係構築に生かす

また、碁盤目状を基本とした街路の多くは、当時配置された状態から現在に至るまで大きく変えられることなく残っており、道幅を広げる工事が行われたくらいで現在も再利用されています。この点にも、政宗の都市計画の確かさを見ることが出来ます。

産業については、全国各地で城や神社仏閣の建造および土木工事が行われ、木材が大量に消費された時代だったこともあり、林業と植樹を大切にしました。「木を一本切ったら、同時に経済的に有用な木の苗を植え、また、屋敷林には食べられる実のなる木を植えるように」と指示していたようで、徐々に制度として確立していきました。これは、今日の「持

## 性格

反省の上に立った  
緻密な計画性と行動力

政宗は、「南奥羽の覇者」の異名から、戦えば連戦連勝だったのだろうと思われがちですが、特に若いころは負け試合もいくつもありました。しかし、政宗が優れていたのは、負けた理由、そしてどうすれば勝てるのか、時には戦わずして勝つ方法などを考え、綿密な作戦を立てて実践した点にあります。それが10代後半から20代前半のことですから、考えてみれば今の高校生か大学生くらいの年齢ですね。その歳で、きちんとダメだったことを反省し、そこから学び、学んだことを次に生かす戦い方をしていたことになります。

## 人材登用

能力主義の人事で  
国づくりを实践

政宗は、若い頃から「人材」というも



川村孫兵衛銅像(石巻・日和山公園)

のに対する意識も高く、秀吉の時代、領地を半分程に減らされても家臣の人員削減はせずに、米沢から(領地替えをされた)岩出山に連れて行きました。周辺の領主を服属、滅亡させた際にも、その旧臣の多くを召し抱え、人材を増やしていきます。同時に、身分の高い・低いに関わらず、能力に応じた人事を行いました。単純な世襲人事は行わず、適材適所に人材を配置したのです。

また、政宗は北上川の治水などさまざまな土木工事を行っており、広瀬川の上流から水を引き、城内下に網の目のように水路を走らせようと、四ツ谷用水の工事を進めました。それを指揮した川村孫兵衛は、長門国(ながとくに)現在の山口県)出身の人で、有能な人材は、どんな遠方の地からでもスカウトしてきたのです。恐らく政宗は、人が一番の資源であると考えていたのではないのでしょうか。これは現代の経営にも通じるものだと思います。

## 「伊達」な心意気で 全国に仙台を発信

先ほども少し触れましたが、政宗に関する逸話の一つに、朝鮮出兵出陣の際の話があります。政宗の軍勢が身につけていた装束が大変きらびやかで、それを見た京都の人々も驚きの声を上げたと言い伝えられる有名な話です。この思い切り傾(かぶ)いた大胆さが好きだというファンの方々の声も多く聞きます。

しかし、人が驚くような目立ったことは、やってみたくも思ってもなかなか実行に移せるものではありません。政宗のDNAは、今の仙台人にも受け継がれていると思いますので、もっと全国の人たちから注目されるようなことに大胆に挑戦しても良いのではないのでしょうか。政宗生誕450年の今年、特にそんなことを思っています。

※仙台市博物館では学術研究機関たる立場から歴史上の人物名に敬称を付していません。本誌でも遠藤館長の発言部分は敬称を省いています。

政宗公は多方面でマルチな才能を発揮しました。生誕450年を機に、仙台の礎を築いた政宗公の想いや考えに改めて触れることで、人材育成や、会社経営のヒントにしてみたいかがでしょうか。

## 生誕450年 関連企画も続々開催予定! 仙台市博物館 特別展「伊達政宗-生誕450年記念」

開催期間 平成29年10月7日(土)~11月27日(月)

◆政宗を支えた重臣・伊達成実、片倉小十郎らの資料も出品!

◆会期中大幅な展示替え。前期・後期あわせて200件以上の資料を展示予定!

「当館で政宗をメインに取り上げた特別展の開催は、実に30年ぶり。すべてが見どころと言っても過言ではない内容となっています(遠藤館長)。」



その他の主な催し(2017年度上半期の予定)

日程	イベント名	会場
4月~9月	仙台・宮城日帰り観光バスツアー「伊達なバス旅」	県内および隣県各市町村
4月1日~6月18日	常設展「旬の常設展2017春 生誕450年-伊達政宗文書特集」	仙台市博物館
4月21日~6月4日	企画展「伊達な優品勢揃いPartII-この10年の新収蔵品-」	仙台市博物館
4月22日~3月26日	伊達政宗公生誕450年記念企画展 「政宗がサン・ファン・パウティスタに託した夢」	宮城県慶長使節船ミュージアム(石巻市)
5月20日~21日	仙台・青葉まつり	仙台市内中心部
5月28日	伊達政宗公生誕450年記念 第24回サン・ファン祭り	宮城県慶長使節船ミュージアム(石巻市)
6月~11月(計7回)	伊達政宗生誕450年記念仙台市博物館連続講座 ※第2回は仙台商工会議所共催(7月開催予定)	仙台市博物館 他
6月~10月(計5回)	伊達政宗公生誕450年記念サン・ファン歴史講座 館長と学ぶ「伊達の文化と慶長使節」	宮城県慶長使節船ミュージアム(石巻市)
8月3日	政宗歴史塾	江陽グランドホテル(主催:瑞鳳殿)
8月6日~8日	仙台七夕まつり	仙台市内
9月5日~11月12日	秋季企画展「政宗と宗泰」	旧有備館および庭園(大崎市)
9月5日~11月12日	企画展「政宗と遠藤氏」(仮称)	大崎市松山ふるさと歴史館(大崎市)
9月10日~9月11日	第54回政宗公まつり	岩出山 南町通り(大崎市)

当所でも450年を記念して、本誌1月号から「伊達政宗の生涯をたずねて」を連載中。今後も、記念シンポジウム等の開催や、仙台七夕まつりでの笹飾りへの記念統一札掲出など、各種取り組みを予定しています。

また、宮城県では記念ロゴマークを作成しています。政宗公生誕450年の今年は、国内外に向けて仙台のシティセールスを行うまたとないチャンス! ロゴマークを活用して、記念の年をみんなで盛り上げていきましょう!

※記念ロゴマークの使用はこちらから(<https://www.pref.miyagi.jp/site/date450/>)



記念ロゴマーク(むすび丸バージョン)